

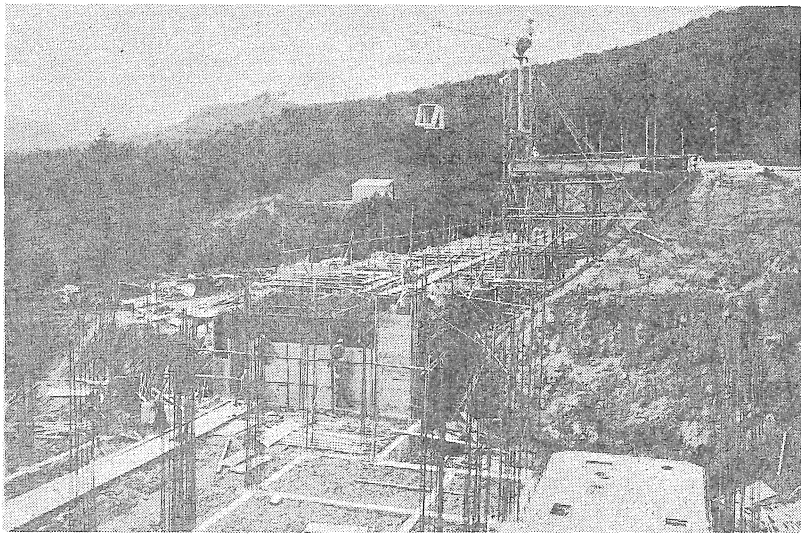
よい風習を育て、住みよい環境をつくる。
○ 交通規則を守り、事故をおこさないようにする。
○ 家の内外をきれいにし、気持のよい環境をつくる
(大洲市民憲章)

今日の納税 固定資産税 4期

報 廣 おおず

市の人口(2月1日)
人口 38,387人
男 18,132人 女 20,255人
世帯数 10,361世帯
面積 240.93平方キロメートル
発行集 大洲市役所 総務課

青年の家建設へ



四国に、初めて建設される国立第十青年の家は、北只の城ノ台に建て物の建設が始まりました。第一期工事として、鉄筋コンクリート二階建ての宿泊棟と連絡棟の工事が進められています。この工事は、第一期で三月までに外郭を完成、48年度も引き続き第二期工事を進め、49年4月からオープン予定です。



生きがいを求め夢のある

理想の都市づくりをめざして

大洲市長 村上清吉

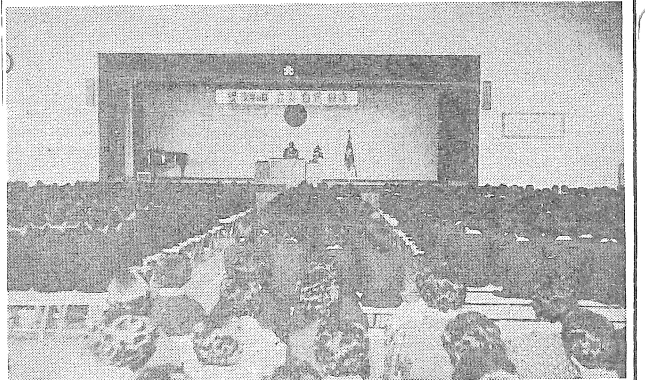
私は、今後における市政の方向を、この思われた自然の中で、すべての皆さんが、ふるおいをもち生きがいのある生活を営んでいただけるように、大洲市の建設におき、従来から進めてきておりました各種施策を、より強くおし進めてまいると同時に、また新しい視野に立って市政の繁栄、市民の皆さんの福祉向上に、全力を投入してまいりたい所存であります。
なにとぞ、皆様からの、一層のご支援、ご協力をお願いしてやまない次第であります。

児童手当の支給範囲が拡大

手続きは3月31日までに

このたびは皆様からのご推挙を得て、引き続き市政を担当することになりました。
過去八年間、皆様からの深いご理解と、また絶大なご協力によりまして、つがな、市政を進めてまいることができ、更に今後四年間重責を担うにあたりまして私は、心から感謝を申し上げておきますと同時に、今更ながら、責務の重大さを痛感いたしているところでもあります。

昭和四十八年四月から児童手当の支給対象となる範囲が拡大されます。以前は、三人目以降が五歳未満であれば、児童手当が支給されておりましたが、この四月からは、十八歳未満の児童が三人以上あり、その三人目以降が十歳未満の児童に、児童手当が支給されることとなります。



親も参加し祝う 十四歳を励ます 「少年式」

二月四日、少年式が今年で九回目を迎える。今年も、少年たちが自覚し、責任ある人間になるよう、大きな志をたて、健康な心身を鍛えるよう、みんなが力をあわせて、大きな目標を達成することを目的に行なわれた。
当日は、各中学校において、少年の主張発表や、決意表明、親子座談会、クイズマッチ、文集発行記念植樹などを行ない、少年たちが親とともに祝福しました。

市奨学生募集 第二回

市教育委員会は、昭和四十八年度の奨学生の願書受け付けを行なっております。十月末日までに十名の応募がありました。
さらに希望の者があれば、なるべく早く、在学する学校で、手続きされるようごぞんじます。

奨学する額は、
毎月 高校 二、〇〇〇円
県外大学 四、〇〇〇円
県外大学 五、〇〇〇円
で無利子です。

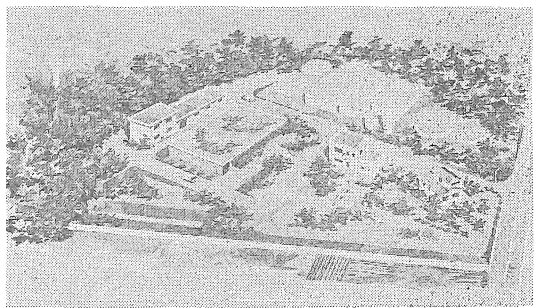
資格は、
①高校、大学または高等に進学在学者。
②学業人物として、すぐれた健康な者。

三人の場合は、四月から三千元の児童手当がふえる。
四歳の場合、三月まで三千元、四月から六千元の手続き方法
児童手当の支給を受けるためには、市長に、認定請求書提出しなければなりませんので、四月から新たに、該当すると思われる人や児童手当の額がこれまでの額よりふえると思われる場合は、今すぐ請求の手続きをこころよくお願いします。

生活環境衛生の向上に 尿処理施設を増設

「大洲・喜多衛生事務組合」で、尿処理施設が昭和四十九年の、このほど、住民の尿を処理する大規模な処理場の起工式が十六日、八多喜町の建設地で行なわれました。
この処理施設は、八幡浜・大洲・広域市町村圏事業の一環として、八多喜町の現処理場横に、約八千四百平方メートルの敷地を造成し、二、四キロリットルの処理をして総事業費三億八千九百九十六万六千円をかけ、一日百二十八キロリットル(現、新施設併用稼働)の処理能力を持ち、管内人口十万人の処理能力をもち、大規模なものを増設することになります。

新施設は、一番安全度の高い、最も新しい機械で、固形物、浮遊物質を完全除去し、放流水による公共水域の水質汚濁防止のため、回収固形物処分についても、高温脱臭機焼却方法で、汚物焼却による臭気は、煙などをなせし、あき地は、芝、植樹による公園化を図り、将来、地域発展の障害にならないよう、衛生的な施設へと配慮されています。



救急出動が増加
市消防署は、四十七年の救急の出動状況をこのほどまとめた。それによると、救急の出動数は三百四十七件前年と比較して六十一件増加していますが、中でも交通事故が過半数をしめる状態です。この恐ろしい交通事故を防ぐためには、皆さんひとりひとりが交通ルールを守ることにあります。



わたしの詩

母のセーター
梶原 八穂

「おかあさん、それ、よう似合わい。」
「そう、これはわたしが若い時のよ、ほいんなら、あなたにあげらう。」
「うれい。」

母のセーターを着て、鏡の前でくると一回転
「よう似合わい。」と母
「おかあさん、さうくくり。」と祖母がいう。
わたしは、なんだか急に大人になったような気持ちになる。このセーターは、母が若い時から大事にして、いたものだ。さうだ。わたしも、大事にしよう。
母と私の青いセーターを。
「評」
おかあさんやおばあさんのあたたかいまなざしを、ばいばいうけて成長していくあなたは、幸せですね。
大事にしなさい。あなたとおかあさんのセーターを。
同校教諭 新穂 徳

平野・雨久米 小学校校舎建設始まる

市が、かねて計画しておりました、老朽化による危険校舎の改築整備については、さる二月五日の臨時市議会で、平野、雨久米小学校の建設工事請負契約締結が、原案どおり可決され、待望の改築整備が図られることになりました。
平野小は、鉄筋コンクリート三階建、千三百五十五平方メートルで普通教室八、特別教室三、管理室一の総工費四千二百万円。
雨久米小は、鉄筋コンクリート三階建八百一十一平方メートルで普通教室三、特別教室四、管理室一の総工費三千四百万円、両校ともに、四十七、四十八年度の継続事業として工事が進められます。
七月中には完成予定で、二学期から近代校舎で授業が始められることとなります。

